

淀川区教育行政連絡会「中学校の部」議事要旨

日 時 令和元年 11 月 18 日（月）10:00～11:15

場 所 淀川区役所 5 階 504 会議室

出席者 学校長：東三国 宮原 三国 十三 新北野 美津島

区役所：淀川区担当教育次長（区長） 淀川区教育担当部長（副区長）

淀川区教育担当課長 同課長代理 同係長 3 名 同係員

傍 聴：0 人

- 資料 1－1 令和元年度校長経営戦略支援予算 加算配付状況
- 資料 1－2 令和元年度校長経営戦略支援予算（加算配付予算）配付対象校の決定について
- 資料 2 体験型イベントの実施について
- 資料 3 次年度に向けた検討状況～淀川区 教育支援関係事業にかかる主な変更～
- 資料 5 新聞報道記事
- 資料 6 令和元年度 学校協議会委員研修 アンケート集約
- 資料 7 スクールカウンセラー事業 R2 淀川区実施体制（案）
- 資料 8－1 「分権型教育行政」による区内の教育行政に関するアンケート
- 資料 8－2 市政改革に関するアンケート
- チラシ 淀川区生涯学習フェスティバル 2019
- 資料 9 第 10 回絵本展「ものがたりのちから」
- 資料 10 子ども見守り放送に関して区に寄せられたご意見
- 資料 11 「淀川区冬休み子ども相談」の広報協力について

【次第】

司会：淀川区教育担当課長

◎淀川区担当教育次長（区長）あいさつ

◎議題

- 1 令和元年度 校長経営戦略支援予算加算配付について【公開】
 - 2 ヨドネル睡眠月間について【公開】
 - 3 次年度に向けた検討状況について【公開】
 - 5 教員間のトラブルについて【公開】
 - 6 分権型教育行政にかかる情報提供【公開】
 - 7 その他【公開】
- ・各議題について意見交換

議題 1 令和元年度 校長経営戦略支援予算加算配付について

(区より説明)

- ・淀川区の各中学校への加算配付の状況を情報共有させていただく。
- ・小学校からは予算の執行段階において学校経営管理センターから会計の費目が適切でないなどの指摘を受け、執行が止まるなど困っていると聞くと聞くが、中学校ではいかがか。問題点や選考に疑義があれば、ご意見をお伺いしたい。

(意見交換)

- 毎年、細かい部分で変更点があるため、予算が認められているのに、執行段階でだめと言われるケースが結構ある。例えばボランティア活動で東北へ行く際の教員の出張旅費の科目など、最終的には指導部に掛け合い、書類を整え何とか予算執行できる時もあるので、難しいと感じている。

⇒ 区より

小学校でも同様の意見をいただいている。具体的な事例を教えていただければ、区長会を通じて教育委員会に意見を伝えていきたい。選定側からは、学力向上に資するための論理的説明の必要性や、仮説がうまくいかなかった時にどのようなアクションをとってPDCAサイクルを回していくか考えられていないという意見、エビデンスの提示がなければ厳しいという意見があった。特に、PDCAサイクルに関してほとんどの学校が触れていなかったとのことなので、次回申請の際は、PDCAサイクルに触れるということもご注意いただきたい。

- 去年に比べ今年は申請用紙自体が非常に簡素化され、PDCA の効果検証や期待できる効果などをうたうスペースが限られていたので、十分書くことができなかった。可能であれば、別紙で対応するなど工夫改善したいと思うが、限られたスペースで記載しなければならないとのことであれば、十分書けるスペースを予め設けていただく方が学校としても申請しやすい。

⇒区より

選定委員会からの意見として「今年度は申請書が簡素化され、より論理的で的確な記載が求められた。優れた取組内容を限られた紙面で効果的な申請書にするために、書き方の技術的な内容よりも関係者の協働を通して具体的で明確な計画内容とすることが必要だと思われる。」とあるが、意味がわかりにくいので、校長先生方からの意見として、区長会を通じ教育委員会にその意味を尋ねていきたい。

- どの学校も一生懸命考えて申請しており、書類の簡素化は働き方改革の影響かもしれないが、執行するまでに莫大な時間を要する点では、納得できない部分もある。
- 次点校として一部予算をいただいたが、要求内容を実施しようにも金額的に不足するし、他への流用もできずに困っているのが現状。

議題 2 ヨドネル睡眠月間について

(区より説明)

- ・主に保護者から「強化月間を設定してみてもどうか」というご意見をいただいていたので、区として今年12月から「ヨドネル月間」に取り組んでいきたい。
- ・各学校では12月のある週やある日にイベントや取組をやっていただきたい。
- ・淀川区は今年から寝具メーカーの西川株式会社と連携しており、西川株式会社の協力を得て子ども用の枕の自作体験を行う。具体的には保護者とペアになって自分用の枕を作ってもらい、枕への愛着を高

めることで睡眠への導入としたい。12月1日からチラシで周知したいので、各学校でもご協力をお願いしたい。

(意見交換)

○区から睡眠月間の通知や各校へのポスターの配付はないのか。淀川区でも睡眠月間に取り組んでいることを広く周知していただく方が、学校も取り組みやすい。

⇒区より

至急作成し、各学校に送付する。初めての取組なので、ご意見をいただければありがたい。

議題3 次年度に向けた検討状況について

(区より説明)

- ・来年度の予算要求について主な変更点をご説明する。
- ・英語交流事業で夏休みに実施している英語イベントについて、クラブ活動等で忙しい中学生の参加は見込みにくい。一方で、小学校では来年度から英語の教科化が始まるため、小学生を対象をしばらく事業を進めていきたい。
- ・現在、区役所の予算で校外学習や登下校の見守り等をサポートしている発達障がいサポート事業と、教育委員会の予算で行っている特別支援教育サポーター事業を、来年度から一元化し、これまでの有償ボランティアという形態ではなく、会計年度任用職員として雇用していく。

(意見交換)

○サポーターを会計年度任用職員として雇用するにあたり、「服務及び懲戒の規定については正規職員の例によります」となっている。かなり厳しい内容となるので、規定などをきちんと理解してもらえるよう研修をしなければならない。

⇒区より

今までは有償ボランティアに頼ってきた。働く方の身分をきちんと保証しようという趣旨だと思う。

○恐らく簡単なものだと思うが、校長が評価をしなければならない。

○学校のニーズに合った方がなかなか見つからない。区で人材バンク的に登録されている方はいるか。

⇒区より

以前は人材バンクをやっていたが、過去の事例で学校とのマッチングがうまくいかず、学校に紹介しても地域に見知った方でないという理由で断られたケースがある。今は区のホームページ等に掲載して、学校に直接問い合わせてもらおうようにしている。

○人材を発掘するという意味では、広く知らせるのは非常に効果的だと思う。

議題5 教員間のトラブルについて

(区より説明)

- ・最近、神戸市で起こった教員間トラブルについて報道されているが、PTAからも心配しているというお声をいただいているので、今回の議題とさせていただいた。
- ・区役所で調査をするということではなく、学校での困りごとや影響などがあれば、お伺いしたいという趣旨。

(意見交換)

- 仕事上話し合って意見が合わないことは日常茶飯事だが、今回のようなトラブルはない。
- 神戸市の例はよくあることではないと思うが、若い先生は普段から LINE や SNS を使っており、軽い気持ちやノリでそんなつもりはなかったという事象が起こる可能性がある。そこで起こるトラブルは心配なので、気を付けて見ていく必要がある。
- 小学校では基本的に授業内容を揃える必要があるので、若い先生が独自に新しいことをやろうとするとき、年配の先生がそれを止めさせようとするところがあると聞く。中学校ではそれぞれの先生が教科担当で、独自の裁量で動ける範囲が広く、新しい取組にも寛容な部分があると思う。

議題 6 分権型教育行政にかかる情報提供

(1) 学校協議会委員研修について

(区より説明)

- ・主に初任者を対象に学校協議会委員研修を実施した際のアンケートとその結果について、情報提供させていただく。2 月にはすべての委員を対象に実施する予定。

(意見交換)

- 学校協議会に来てくださる方は学校の取組や考えを理解して地域に広めたり、正すべき点は正すといった基本的スタンスが必要だと思う。

⇒区より

2 月の研修では学校協議会はお互いに作り上げるものだということをきちんと伝えていく。研修でも委員の皆さんに学校のためにやってほしいことを伝えているが、この点を一層重点的に伝えたい。

(2) 次年度のスクールカウンセラーの配置について

(区より説明)

- ・中学校単位で配置されているスクールカウンセラーについて、小学校でも巡回回数を増やしてほしいという要望があったので、予算を増額し、各小学校に均等に当たるよう次年度から枠を増やしていく。中学校は従来と変わらない。

(3) アンケートの実施について

(区より説明)

- ・昨年度と同様、分権型教育行政に関するアンケートと市政改革に関するアンケートを実施させていただく。分権型教育行政に関しては取組内容についての説明資料もあわせて配付するので、ご協力をお願いしたい。

(4) 「淀川区生涯学習フェスティバル 2019」について

(区より説明)

- ・毎年開催している淀川区生涯学習フェスティバルについて、今年は 12 月 1 日の 12 時半から開催する。オープニングは淀川区子供会連合協議会にお願いしている。チラシは先週、学校にお送りさせていただいたので、よろしくお願いしたい。

(5) 絵本展「ものがたりのちから」について

(区より説明)

- ・毎年開催している絵本展「ものがたりのちから」が今年は10回目を迎える。主に乳幼児、小学生低学年を対象に区役所5階で開催する。チラシは1月10日頃に発送予定なので、よろしくお願いしたい。

議題7 その他

【子ども見守り放送について】

(区より説明)

- ・防災無線を使って現在午後4時50分に子ども見守り放送を流している。これまでも賛否両論あるが、最近はボリュームが大きいという意見や時間を細かく区切って放送してはどうかといった意見をいただいている。基本的には調整が難しいため、今までどおり進めていきたい。

【「淀川区冬休み子ども相談」の広報協力について】

(区より説明)

- ・教育委員会ではLINE相談を実施しているところだが、人権啓発推進員の連絡会の中で、やはり顔と顔を合わせて相談を聞くことは意義があるというご意見もいただいたので、この冬休みから休み前と休み明けに相談会を実施していこうと考えている。
- ・12月26日は区役所4階の市民協働課相談室で、12月27日と1月7日は区民センターにおいて、各枠、人権啓発推進員が区在住の小学生・中学生を対象に相談対応をする予定。
- ・今の子どもはLINEができて電話をかけることが苦手な子どもが多いようだが、春休み、夏休みに向け相談体制を充実させていきたい。
- ・12月の広報誌に掲載予定だが、保健室の近くや掲示板等に貼り出せるような学校向けのチラシを現在作成中なので、お送りした際は掲示のご協力をお願いしたい。

(意見交換)

○相談内容によっては、学校に知らせてくれるのか。

⇒区より

基本的には「秘密は守ります」としているが、命にかかわるような重要な事案と特定できれば、必要に応じて学校に連絡させていただく。相談員となる人権啓発推進員はカウンセリングの資格を持っておらず、その他の窓口につなぐ役割を担っている。今回が初めての試みで手探りの状況だが、ご協力いただきたい。

○相談はとびこみでも受け付けてもらえるのか。

⇒区より

「いつでも気軽に来てくださいと」いうことにしている。事前予約も不要。

【次年度の教育委員会組織の再編について】

(意見交換)

- 次年度から大阪市教育委員会は4つのブロック(委員会)に分かれて、ここは第1区になると聞いている。港区や此花区を加えて大きな組織になるが、区と校長会の関係は今後どうなるのか。
- まずは指導部を4つに分けて、令和4年からは行政自体もそのように分けていく方向で進んでいる。

⇒区より

4つのブロックに分けることは、住民投票の結果にかかわらず進めていくことは決まっている状況だと聞いている。特別区になれば総合庁舎的な場所が一つの市になるということだが、そこに教育委員会や議会を置くのは難しいので、市役所を使うといった断片的な話しか聞いていない。具体的な話はまだというのが実態。情報が入れば共有させていただく。

○今はブロック校長会の後に区の校長会という流れで話をさせていただいているが、来年からはどうなるかわからない。

【フリースクールについて】

（意見交換）

- 保護者から1か月間子どもを休ませてフリースクールに通わせたいとの連絡があった。どうも出席日数を認めてほしいということのようだ。
- 同じ塾に行っていた生徒が1か月の試用期間を終えて学校に戻ってきたが、親が引き留めても、またその塾に戻りたがっているようだ。その塾は学校教育を否定しており、働きながら学べるとうたっている。不登校の子のための学校ではない。
- 塾代助成の対象にもなっているが、学校教育を否定しているところが対象になっているのはおかしいと思うので、こども青少年局や教育委員会指導部にも伝えている。
- きちんとしたカリキュラムで、コミュニケーション能力の養成も視野に入れている不登校の子のためのフリースクールもある。
- 国の方針では最近、フリースクールを認めて通信教育やネットでも出席扱いする方向なので、今後増えてくると思う。
- 出席していなくてもチャレンジテストでよい点を取れば成績表は5をつけないといけない。これは大阪市が言っていること。